

第3期名古屋市教育振興基本計画（案）に対する 市民意見の内容及び本市教育委員会の考え方

第3期名古屋市教育振興基本計画（案）に対し、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

いただいたご意見の概要と、それに対する本市教育委員会の考え方を公表します。

なお、ご意見の内容は、一部を要約するとともに、趣旨の類似するものをまとめ、項目別に分割して掲載していますのでご了承ください。

平成31年3月

名古屋市教育委員会総務部企画経理課
電話 052(972)3272
FAX 052(972)4175
電子メール a3272@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

実施結果

- (1) 実施期間 平成31(2019)年1月18日(金)～2月18日(月)
- (2) 計画(案)の配布 市公式ウェブサイト、市民情報センター、区役所情報コーナー、支所 など
- (3) 提出状況 人数 18人
件数 77件
- (4) 提出方法 メール7人、FAX7人、郵送3人、持参1人
- (5) 意見の内訳

区 分	件 数
計画全体に関すること	5
基本的方向Ⅰ(施策1～5) 子ども一人ひとりの個性を大切に、社会で活躍できる力を育成します	31
学校教育全般に関すること	6
特別支援教育等に関すること	6
少人数教育に関すること	6
部活動に関すること	5
学校図書館に関すること	4
学校設備に関すること	2
人権教育に関すること	2
基本的方向Ⅱ(施策6～9) 子どもや教職員のための良好な教育環境を整備します	12
教員の多忙化解消等に関すること	5
教員の育成・研修等に関すること	4
小規模校・大規模校対策に関すること	3
基本的方向Ⅲ(施策10～14) 学校・家庭・地域が共に子どもの豊かな育ちを応援する体制を整備します	15
いじめ、不登校対策等に関すること	9
家庭への支援等に関すること	3
子どもの針路に関すること	3
基本的方向Ⅳ(施策15～18) 生涯を通じた学びの支援と、名古屋に人を惹きつける文化の魅力の創造・発信を進めます	12
図書館に関すること	11
美術館に関すること	1
その他	2
合 計	77

(6) 意見に対する教育委員会の考え方

計画全体に関すること (5 件)

○意見

- ・前期計画で掲げた事業の目標の到達状況を、計画に明記すべきである。
- ・名古屋市の教育の魅力がアピールできれば、若い世帯の増加や財源の確保につながる。
- ・事業によって幼児、小学生、中学生、高校生、大人の区分が存在しないものがある。
- ・計画が幼児教育全般に関する施策を扱うものであるなら、計画の対象範囲に私立幼稚園等に関する施策が含まれるような記載とすべきではないか。
- ・元気でたくましいことが好ましいとする価値判断に基づく子ども像が、子どもの生き難い状況の原因となっている。

○教育委員会の考え方

現行計画が進行中であるため、目標の到達状況を本計画に掲載することはできませんが、本計画は、各年度で実施している点検・評価の結果を踏まえ策定しております。

本計画の施策・事業を着実に推進することにより、本市の教育の振興を図ってまいります。

各事業における年齢層の区分表記については、主に教職員を対象としている施策6と施策7の各事業の表示を省略しております。この点について、説明を補記いたします。

本計画が対象とする施策の範囲について、私立学校の振興に関する施策を含むことがわかるよう文言を追記いたします。

本計画では、子どもの個性が尊重され、一人ひとりの発達の過程を踏まえた人生（ライフキャリア）の支援という視点を大切にしながら、施策・事業を推進してまいります。

基本的方向Ⅰ（施策 1～5）

子ども一人ひとりの個性を大切にし、社会で活躍できる力を育成します（31 件）

学校教育全般に関すること (6 件)

○意見

- ・学校ではいまだに一斉授業等が行われているため、主体的に新しい教育について探求する意識をもった人材を投入する必要がある。
- ・学校の授業内容が社会でどのように活用されているかについて、子どもに伝えたり、夏休みの課題としたりすると、学ぶ意義が見いだせてよいと思う。
- ・「特別の教科 道徳」の見直しが必要である。現在の教科教育では、子どもに価値観を押し付けているに過ぎない。
- ・多くの教員の目で子どもたちを見ることができ、教員の専門性を発揮しやすく、負担軽減にもなるため、小学校高学年の教科担任制を導入してほしい。

- ・外国語教育の充実について、特例を設けた教員採用選考試験が実施されても、必要な場所に配属されているのか確認できない。
- ・子どもの生きる力を引き出すために、幼児期の子と親の育ち支援を推進してほしい。

○教育委員会の考え方

本市では、新学習指導要領の着実な実施に向け、主体的・対話的で深い学びを一層進めるため、各学校で授業改善に取り組んでまいります。

学校における社会奉仕体験活動や自然体験活動などの体験活動を充実させ、子どもが学習課題や学習活動を選択する機会を授業時間内に設けることで、学校の授業内容が社会でどのように活用されているかについて伝えてまいります。

「特別の教科 道徳」は、答えが一つでない道徳的な課題を一人ひとりの児童生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考え、議論する道徳」への転換を図るものとして実施してまいります。

小学校高学年における教科担任制は、平成28（2016）年度から全小学校高学年で実施しており、今後も継続・充実を図ってまいります。

外国語教育の充実に関し、特例を設けた教員採用選考試験を実施して採用した人材については、英語免許所有者がいない小学校などの必要な学校に配置しております。

幼児期の子と親の支援については、平成31（2019）年7月に開設予定の幼児教育支援室において保護者に対する子育ての支援を進めるとともに、保育者の資質向上を図る研修や今日的な課題についての調査研究を実施してまいります。

特別支援教育等に関すること（6件）

○意見

- ・特別支援学校高等部の入学者数の増加に関しては、高等特別支援学校の整備だけでなく、市立高等学校に高等部の分校や分教室を設置するなど教室の活用やインクルーシブ教育体制につなげる方向性を明示してほしい。特別支援学校中学部も、小規模な小・中学校に併設し、多様な交流を推進すべきではないか。
- ・発達障害の可能性のある子どもへの支援について、講師や介助員の配置、アドバイザーの派遣よりも、特別支援教育免許保有者の正規採用を増やす方が先だと考える。
- ・多様な教育的ニーズに対応したきめ細かな指導のために、支援員の配置が不可欠である。
- ・障害のある子どもへの支援、日本語指導が必要な児童生徒への支援、多文化共生に向けた支援について、目標等が抽象的である。
- ・発達障害を意識しすぎて、それ以外の子どもとの区別が強調されると、本来の「インクルージョン」の考え方に反するものになる。

○教育委員会の考え方

高等特別支援学校の整備は、若宮商業高等学校と同一敷地内に併設することを検討しており、インクルーシブ教育の推進が図られるよう検討してまいりたいと考えております。

多様な教育的ニーズに対応した子どもへの支援について、特別支援教育に関わる免許状所

有者を教員採用選考試験の際に特例を設けて積極的に採用しているほか、発達障害対応支援員の配置などをしてまいりたいと考えております。

本計画では、一人ひとりの子どもたちが困っている状態をしっかりと踏まえながら、そのニーズに応じて支援を行うという考え方のもとで、施策・事業を進めてまいります。

少人数教育に関すること（6件）

○意見

- すべての学年において30人以下の少人数学級にすることは、インクルーシブ教育を行う上で必須であり、教員の負担を減らすことにもつながる。
- 県からの権限移譲のメリットを活かした少人数教育の充実を施策として明確化し、教員が安心して働き続けられる環境整備をお願いしたい。
- 小規模校対策が進められると、特別支援学級数が減り、1学級当たりの児童生徒数が増加するため、きめ細かい教育ができなくなるのではないかと懸念している。

○教育委員会の考え方

少人数教育の充実を図るため、少人数学級、少人数指導（チーム・ティーチングなど）を推進し、インクルーシブ教育を含めた本市の教育力向上に努めてまいります。

特別支援学級の定員は8人となっており、少人数によるきめ細かい指導を実施してまいります。

部活動に関すること（5件）

○意見

- 部活動を生徒指導に利用する実態がある限り、子どもの主体的な活動にならない。
- 名古屋市立高等学校において、女子の運動部に男子マネージャーを積極的に受け入れてほしい。
- 小学校部活動の今後の方向性がわかりづらい。
- 小学校部活動の振興の目標にスポーツ体験事業について記載があるが、文化的体験について記載がない。
- 学校体育等における安全指導體制の事業があるが、安全指導には生涯学習課も取り組むべきではないかと懸念している。

○教育委員会の考え方

部活動は、子どもたちが豊かな学校生活を過ごす上で大切な役割を果たしていると考えており、自主的に楽しめる活動となるよう指導してまいります。

教育委員会では、高等学校のマネージャーについて、生徒の性別等の制限を設けておりません。各校において学校の特色や生徒の意思を尊重した部活動運営を実施してまいります。

小学校における部活動については、教員が指導しない新たな運動・文化活動の実施に向けて検討し、取り組んでまいります。

部活動における文化的な体験事業の実施に関するご意見については、今後の参考とさせていただきます。

学校体育等における安全指導體制の充実のため、生涯学習課においても部活動指導者研修会等で指導を行っておりますので、事業を担当する課として追記いたします。

学校図書館に関すること（4件）

○意見

- ・学校図書館図書標準の達成率の向上、小・中学校への児童生徒用新聞の配架など、学校図書館教育を充実させてほしい。
- ・学校司書の配置の目標について、計画期間中に全校配置とするよう明記すべきである。

○教育委員会の考え方

学校図書館図書標準の達成及び学校図書館への児童生徒用新聞の配架については、各学校への周知を今後も継続してまいりたいと考えております。

学校司書については、配置拡大に向け努めてまいりたいと考えております。

学校設備に関すること（2件）

○意見

- ・教材の整備は重要だが、予算的なことを考えれば、タブレットよりも図鑑などの学級用図書を充実させる方が現実的ではないか。

○教育委員会の考え方

新学習指導要領の実施にあたっては、主体的・対話的で深い学びによる授業改善のため、コンピュータ等で画面を大きく映し、学習情報を共有することは最低限必要であり、書籍とともにタブレット端末の活用を進めることで、さらに多様な学習活動が展開できると考えております。

人権教育に関すること（2件）

○意見

- ・子どもは権利の主体であり、すべての子どもがもつ日常的な権利を保障することが大きな課題である。
- ・男子でリボンをつけたりスカートを履いたりする人や、女子でスラックスを履く人が安心して学校生活を送れるように、多くの生徒にリボンのつけ方とスカートの履き方を知ってほしい。

○教育委員会の考え方

子どもの人権が尊重される社会の実現に向けて、「子どもの権利条約」や「なごや子ども条例」の趣旨や内容を周知してまいります。

誰もが自分らしく生きられる社会の実現に向けて、性的マイノリティなどの児童生徒に対

し、きめ細かい配慮に心掛けるとともに、多様性を認め合い互いに尊重し合う豊かな人権意識が児童生徒の身に付くよう、人権教育の推進に努めてまいります。

基本的方向Ⅱ（施策 6～9）

子どもや教職員のための良好な教育環境を整備します（12件）

教員の多忙化解消等に関すること（5件）

○意見

- ・スクール・サポート・スタッフの配置より前に、非常勤教員の正規雇用化が求められる。
- ・スクール・サポート・スタッフの導入による改善点や今後の増員予定についての展望が書かれていない。
- ・新学習指導要領に対応するには、教員のゆとりが必要である。教員の働き方改革を進める意義を教育委員会から保護者へきちんと説明してほしい。また、備品管理等は教員以外に委ねられるよう、人的資源の投入を認めていく必要がある。
- ・学校にプロジェクタやスクリーンを配置し、教材を表示できるようにすれば、教員の負担軽減になり、授業内容も工夫しやすくなると思う。
- ・学校現場に希望者がたくさん集まるような勤務条件になっているか等、自己点検が不十分である。

○教育委員会の考え方

スクール・サポート・スタッフは、教員が児童生徒への指導や教材研究等に、より注力できる体制を整備する目的で配置しております。配置校からは「大変役立っている」、「今後も配置してほしい」といった意見が寄せられております。こうした声も踏まえながら、今後の配置を検討してまいります。

教職員の働き方改革の推進については、平成30（2018）年12月に教育委員会から保護者あてに通知文書を出し、ご理解とご協力をお願いしたところです。今後も機会を捉えて働き方改革の意義についてお伝えしていきたいと考えております。

今後とも学校現場の実情を踏まえ、働きやすい職場づくりに努めてまいります。

教員の育成・研修等に関すること（4件）

○意見

- ・若手教員の育成について、今後の教員の年齢構成やワーク・ライフ・バランスの観点が必要である。
- ・教職員評価によるメリット等について、具体的に記載すべきである。
- ・幼児教育の充実のための教員養成を実施するにあたり、「なごや教職インターンシップ」の実施においては、幅広く体験する場を提供するために私立幼稚園等への派遣を検討しては

どうか。

- 教育実習のために、教育現場が学生にとって開かれた場であり続けてほしい。

○教育委員会の考え方

若手教員の育成については、新任教員応援セミナーの講座でワーク・ライフ・バランスについても取り上げております。

教職員評価については、教職員の意欲と資質・能力の向上、学校（園）組織の活性化・教育活動の充実を図ることを目的として、実施してまいります。

「なごや教職インターンシップ」については、名古屋市公立学校教員を志望する学生を対象としているため、名古屋市立学校（園）における体験機会を提供しております。市立幼稚園でも実施しておりますので、その旨を追記いたします。

教育実習の受け入れについては、希望者が多いことから、受け入れる学校の状況を勘案しながら進めております。

小規模校・大規模校対策に関すること（3件）

○意見

- 小規模校では、全教職員が全校児童を知ることができ、クラス替えができなくてもしっかり手をかけられるので、社会性や協調性を伸ばせると思う。
- 大規模の学校は、子どもたちの学習権が奪われるため、すぐに解決を図るべき対象であるが、手をつけやすい小規模の学校から対応しているように見える。
- 学校規模について、「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」との違いがあり、正確な情報が書かれていない。

○教育委員会の考え方

小規模校では、社会性や協調性を伸ばす機会が限られてしまうことのほか、集団学習などに制約が生じる、教員が少なく一人当たりの負担が重くなるなどの課題があることから、望ましい学校規模の確保に取り組んでまいります。また過大規模校についても、望ましい学校規模の確保に取り組んでまいります。

施策 9 は、「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」を基に記載しております。詳細な内容は、同計画を参照して下さい。

基本的方向Ⅲ（施策 10～14）

学校・家庭・地域が共に子どもの豊かな育ちを応援する体制を整備します（15件）

いじめ、不登校対策等に関すること（9件）

○意見

- 不登校について、なぜ増え続けているかの分析こそ教育委員会の役割ではないか。福祉との連携や少人数教育等での対応を考えてほしい。
- 不登校の児童が大勢いるのに対して、子ども適応相談センターの数が少ない。鶴舞サテライトは分割すべきではないか。
- 多様な児童生徒がいる中、いじめや不登校などの原因になるおそれがあるため、学校への入学時に自己紹介するのをやめてほしい。
- 問題が生じた際に、法律の専門家や家庭への介入・支援を行う専門家が素早く対応できる仕組みをつくってほしい。
- 児童生徒が孤立したままでも安心して学校生活ができるサポート体制を整えてほしい。
- 学校行事は、教員が指示し、子どもの自主的に考える力を損ない、いじめにつながる可能性があるため、見直す必要がある。
- いじめ、不登校などは、土台にある社会や文化に注目しなければ対応していることにはならない。
- 外国籍の子どもが年齢に縛られずに学校に入学できたり、不登校になった子どもが夜間中学校などで無理なく学べたりするといった、多様な子どもたちが学べる機会をもてる必要がある。

○教育委員会の考え方

不登校になる要因はさまざまで、適切な支援も一人ひとり違います。子ども適応相談センターを中心に、各学校や関係機関等と連携を密にしながら適切な支援を進めるとともに、支援の充実に向け、さまざまな検討を進めてまいります。

学校での自己紹介は「人間関係をよりよくするための力」、「多様な他者との違いや多様性を認め、生かし合いながら協働して活動に取り組もうとする態度」を育てる上で相互理解ができる効果が期待できますが、各学校・学級の実情に応じた配慮をすることが大切であるとも考えております。

学校問題解決支援チームでは、学校だけでは解決できない困難な事案に対し学校への指導助言を行っており、なごや子ども応援委員会では、子どもたちと普段から関わりながら学校とともに問題の未然防止、早期発見や個別支援を行い、子どもたちを支援する体制づくりを推進しています。また、担任が声を掛けたりスクールカウンセラーと接する機会を設けたりして、きめ細かくサポートしてまいります。

学校行事を行うにあたっては、各学校に、児童生徒の自主的・実践的な活動が助長されるように工夫していくことを働きかけてまいります。

本市では、周囲の大人が子どもの主体性を重視し、子ども中心の発想をするための基本的な考え方となる「なごや版キャリア支援」の策定に向け、取り組んでおります。また、市民の皆さま全員が子どもに関する課題意識を共有するとともに、自己の役割を認識し、子どもが安心して豊かな社会や集団を築く推進者であることを自覚できる風土づくりに、より一層努めてまいります。

名古屋市内にお住まいの外国籍の子どもは、ご希望により名古屋市立の小・中学校に入学することができます。編入学年については、日本語教育の状況等を考慮し、学校長が判断しております。不登校になった子どもへの対応については、国籍に関係なく学べる機会が用意されております。

家庭への支援等に関すること（3件）

○意見

- ・家庭生活のあり方は、親の就労や家計の状況に大きく左右されるため、就学前の家庭支援を担っている保健センターや福祉関係者と学校の協働が求められる。
- ・PTAのあり方自体が課題となっていることにふれてほしい。家庭教育セミナーの開催自体難しくなってくるのではないか。
- ・幼児教育無償化は低所得世帯への十分な援助にならないため、その財源を他の公教育に投資すべきではないか。

○教育委員会の考え方

家庭教育の振興を図るために、保護者の自発的な学習を支援する事業を実施しております。事業の実施にあたっては、関係機関との連携・協働が大切と考えております。また、就学前の家庭支援の状況等については、幼稚園等から就学前に送付されるリレーシートで情報共有に努めております。

PTAでは、それぞれの実態にあわせて自主的な運営が行われております。学校・家庭・地域で子どもたちを見守り育てていくため、PTA活動の振興を支援する事業を実施しております。

幼児教育無償化については、少子化対策や幼児教育の重要性を考慮して国全体として実施する施策ですので、国の動きにあわせて対応してまいります。

子どもの針路に関すること（3件）

○意見

- ・高等学校の進学校に就職・公務員コースを設置して、専門学校進学者と就職者をもっと増やしてほしい。また、専門学校進学と就職できる魅力を知ってもらうため、ガイダンスなどの小冊子をつくってほしい。
- ・「針路」という言葉が使われているが、子どもをものとして扱っている感じがするため、「進路」としてほしい。

○教育委員会の考え方

市立高等学校では、将来を見据えたキャリア教育を進めております。就職及び専門学校進学それぞれの希望者に対して、個別のガイダンスやインターンシップなどを実施しながら個々に応じたキャリア教育を推進しており、今後とも本人や保護者の希望に寄り添った進路指導を行ってまいります。

本市では、「日本で1番子どもを応援するマチ ナゴヤ」を掲げ、子どもの就労や進学という現在の進路に留まらず、将来の人生（ライフキャリア）の視点で子どもたちの生涯を通じた応援をしていきたいという思いを「針路」という言葉に込めております。

基本的方向Ⅳ（施策 15～18）

生涯を通じた学びの支援と、名古屋に人を惹きつける文化の魅力の創造・発信を進めます
（12件）

図書館に関すること（11件）

○意見

- ・「図書館サービス網の充実」について、具体的な対処方針を示すべきである。
- ・なごやアクティブ・ライブラリー構想について、千種区内のモデル館と千種図書館との関連や、名東、守山、東、志段味図書館がどのような位置づけになるか不明である。また、3つのタイプの図書館に分けるとあるが、区により図書館サービスに差がついてしまうため、今までどおりの図書館規模にしてほしい。
- ・図書館運営を現状どおり市の直営にしてほしい。指定管理者制度は「図書館の自由」の観点からも心配である。
- ・図書館サービスの基本は図書・情報の利用なので、施策 15 の成果目標は貸出冊数を指標とすべきである。
- ・目標としている図書館での読み聞かせの実施回数や、図書館司書による学校等でのブックトークや読み聞かせの実施回数の根拠が不明である。

○教育委員会の考え方

なごやアクティブ・ライブラリー構想における図書館サービス網の充実については、ハード面とソフト面の機能をブロックごとに組み合わせ、ネットワークとして展開することで、より広く多くの市民の皆さまにサービスを届けられるよう、誰もが気軽に利用しやすいサービス網の再構築に取り組んでまいります。

図書館の整備については、地域に根ざしてよりきめ細かな図書館サービスを展開できるよう、ブロック内の図書館を地域サービス館3タイプに分けるとともに、図書館機能を必要な場所に再配置してまいります。

図書館の運営については、将来にわたる持続可能な管理運営体制を構築するために、市直営と民間活力を組み合わせることで効率化を図りながらサービスを向上させていく必要があると考えております。

施策15の指標では、広く図書館サービスを利用された方の増加を重視し、設定しております。図書館での読み聞かせの実施については、おおむね現在の実施回数の維持を目標としていますが、今後は図書館外のより身近な場所での実施を推進したいと考えております。

美術館に関すること（1件）

○意見

- ・美術館が目立たないので、隣接する科学館とあわせて魅力をアピールしてはどうか。

○教育委員会の考え方

美術館では、科学館との常設展共通観覧券の発売や広報協力などをこれまでも実施しており、今後も美術館・科学館両館の魅力を発信できる事業を企画実施してまいります。

その他（2件）

○意見

- ・パブリックコメントの実施にあたり、事前の説明会や事後の議論の場を設定すべきである。

○教育委員会の考え方

パブリックコメント制度では、事前の説明会や事後の議論の場は想定されておりません。いただいたご意見は十分に精査し、修正が必要と思われるものを反映いたします。